

新潟県女性センター情報 No.65

2008. 1. 8発行

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

財団法人新潟県女性財団 理事長 大島照美子

年頭のご挨拶にあたり昨年も当財団へ皆さま方から多くのご支援ご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げますとともに本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、男女共同参画社会づくりに向けて、国では男女共同参画社会基本法、そして新潟県では条例が制定され、県内 20 市のうち 2007 年現在では 16 市が行動計画のもと施策が推進されています。このように法等の条件整備はされてきていますが、まだまだ「男は仕事、女は家庭」に代表されるような性別による固定的な役割分担意識が強いのが現実の社会です。

しかし一方では合計特殊出生率が 2006 年で 1.32 人(新潟県は 1.37 人)であり、又女性の能力活用指数が世界の中で常に 40 位前後という共に先進国としては最低レベルからいまだ脱却できずにいます。

そんな中で少子高齢社会はもとより日本の人口が 2005 年から減少社会に転じた今こそ、男だから女だからということではなく社会的性差(ジェンダー)にとらわれずに個人の能力や個性が十分に発揮でき認め合い一人ひとりが生き生きと輝いている地域社会・まちづくりのために男女共同参画の大切さを、それぞれの地域やいろいろな分野の皆さまが当財団の事業を通して感じ取っていただけたらと思っています。そのためにも企画運営委員と職員一同一丸となり当財団の使命をしっかりと捉え、高い志と情熱をもって事業展開を図っていく覚悟をあらたにしています。そして当財団がさらに一歩大きく飛躍する年でありたいと願っています。

最後に皆さまのご健勝と益々のご活躍を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



2008 年 新春

人材育成セミナー

メンバーのちからを引き出し、問題解決に導くファシリテーター必須のファシリテーション・グラフィックを徹底的に学ぶセミナーを開催します。「地域の課題を解決したい」「職場の会議を活性化したい」と思っている方に、男女共同参画の理解とスキルの習得を目指します。

◆ファシリテーション・グラフィックを使いこなそう！ ～ともに生かし合う関係をつくるために～

回	日時	テーマ	講師
1	2月10日(日) 10:30~17:00	ファシリテーション・グラフィックとは 様々なファシリテーション・グラフィックを体感する	加留部貴行 (日本ファシリテーション協会副会長)
2	2月11日(月・祝) 10:00~15:00	ファシリテーション・グラフィックの姿を観察する 可視化のバリエーション、実践活動に向けて	
3	3月29日(土) 10:30~17:00	ファシリテーション・グラフィック実践の共有・振り返り 活用事例研究、配置・道具・スキル特集	川端美智子 (女性財団事業コーディネーター)
4	3月30日(日) 10:00~15:00	さらなる実践に向けて ファシリテーション・グラフィックのそもそもを振り返る	

【会場】新潟ユニゾンプラザ 2階 女性団体交流室 2

【参加費】12,000円 【〆切】2月4日(月) ※応募多数の場合は抽選

【対象・定員】ファシリテーション・グラフィックの実践経験がある方、活用の予定がある方 20名

【保育】定員10名。先着順。6ヶ月以上。保育協力費子ども1人1回400円。1月25日(金)〆切。

【申込み・問合せ】新潟県女性財団 TEL 025-285-6610/FAX 025-285-6630/メール balansu@cocoa.ocn.ne.jp

センター講座

県と共催で、更年期やこころについて学ぶ講座を開催します。悩んでいる方だけでなく、皆さんも“わたし”のからだところについて一緒に学びませんか。

◆ “わたし”のための健康セミナー

～こころとカラダに効くサプリメント～

【日時】1月30日～2月13日 毎週水曜日 10:00～12:00

【会場】新潟ユニゾンプラザ2階 女性団体交流室2

【参加費】無料 【×切】1月25日(金)

【保育】定員10名。1月15日(火)×切。

【申込み・問合せ】新潟県女性財団

【公開講座】こころを知る

～女性のライフサイクルとストレス～

日時：2月6日(水) 10:00～12:00

講師：勝井丈美(河渡病院精神科医、新潟県男女平等推進相談室こころの相談担当)

定員：50名(男性も参加できます)

地域セミナー

財団と共催で、様々な地域でセミナーが開催されます。各セミナーの詳細については、それぞれの「申込み・問合せ先」へお電話ください。当財団のホームページでも詳細がご覧いただけます。

◆地域セミナー with Happy Balance 「わたしの気持ちを届けるために」 ※キャンセル待ちです！

【日時】全3回/1月28日(月)・2月4日(月)・2月18日(月) 9:30～12:00

【会場】新潟ユニゾンプラザ2階 女性団体交流室2 【参加費】3,000円 【定員】女性20名

【講師】石附幸子(NPO法人アサーティブジャパン認定トレーナー)

【申込み・問合せ】Happy Balance FAX 025-270-2474(山崎) / メール yeshappybalance@yahoo.co.jp

◆地域セミナー with 刈羽村女性ネットワークの会 「震災に負けず野菜を食べて元気を出そう」

回	日時	内容	会場
1	1月20日(日) 10:00～12:00	簡単に作れる食育料理 けんさん焼き、ミネストローネ、さつまいものカステラ	生涯学習推進センターラピカ (刈羽村大字刈羽100)

【対象・定員】刈羽村の方ならどなたでも 30名 【参加費】300円

【申込み・問合せ】刈羽村女性ネットワークの会 TEL 0257-45-3933/FAX 0257-45-3988

◆地域セミナー with 子ども支援ネットワーク・ライツ 「心とからだをリフレッシュ～自分を再発見～」

回	日時	テーマ	講師
1	2月16日(土) 13:30～15:30	私らしく、あなたらしく ～大切な自分に出会うために～	小柳信子 (子育てカウンセラー)
2	2月23日(土) 13:30～15:30	ハーブ de リラックス	永島節子 (ハーブランドシーズンオーナー)
3	3月9日(日) 13:00～17:00	【第1部】自分の居場所を見つけるために 【第2部】生きる喜びを歌で(コンサート)	武義和 (小国フォルケホイスコーレ代表)

【会場】豊栄地区ふれあいセンター(新潟市北区東栄町1-1-18) 【定員】30名 ※第3回のみ30名追加募集

【参加費】第3回のみ1人600円/ペア1,000円 【保育】先着10名。保育協力費1人1回200円。

【×切】2月12日(火) ※第3回のみ参加は3月3日(月)まで。席に余裕があれば当日も可。

【申込み・問合せ】子ども支援ネットワーク・ライツ TEL&FAX 025-388-5971(渡辺)

TEL&FAX 025-387-5647(本間)

◆地域セミナー with 北東アジアの女性史を学ぶ会 「大パーティ！おばあさんから受け継ぐもの」

回	日時	内容	会場
1	3月2日(日) 12:00～15:00	朝鮮のお雑煮「トック」などを食べながら、おばあさんを中心に、在日の母親、日本人の母親、ほか様々な参加者が共に語り合い楽しむ会です。	新潟ユニゾンプラザ2階 女性団体交流室2

【定員】60名 【参加費】500円/学生、乳幼児同伴者等200円 【×切】2月25日(月)

【保育】6ヶ月以上。保育協力費子ども1人200円。2月18日(月)×切。

【備考】調理スタッフ募集中

【申込み・問合せ】北東アジアの女性史を学ぶ会(通称:あるじゃの会) TEL 090-8305-6014(吉沢)

メール takuangohan@ybb.ne.jp

講座レポート1

燕市で11月15日から3回に渡りエンパワーメント講座「リフレッシュのためのおしゃべりカフェ」を開催しました。担当者からのレポートです。

今秋、女性財団と共催で「メディア」をテーマに地域セミナーを実施しました。昨秋に三条市から「メディアウォッチング」講座のお誘いを受けたことや、男女共同参画を推進するには、身近なテレビを始めとする様々なメディアから毎日流される情報を鵜呑みにしないで固定的役割分担意識を助長する表現の是正など、女性の人権に配慮したメディア・リテラシーを培うことの必要性を感じたからです。そのため、各回ごとに伝えたい内容を整理するとともに、3回講座として各回の流れを決め、講師との打ち合わせも丁寧に行いました。

1回目は、このセミナー全体の基調講演と位置付けるため、講師の石川伊織さんから「メディア・リテラシーとはなんだろうか？」をテーマに、現代は読むだけではない、誰もが読み・書く能力（リテラシー）を持つことが当たり前になった、その書き手の意図に読み手の意図を汲み取る両方が求められる表現とはどういうことかを若い人たちに人気のマンガ「のだめカンタービレ」を題材にしたお話をいただきました。

2回目は、アイスブレイクの後にグループ編成をし、講師の与口幸子さんの説明で、健康や旅行など性別に関係なさそうなジャンルの雑誌から写真を切り取り、それを有名人か無名人か、男女別、年齢別に大洋紙に貼り付け、「男女の扱いを比べてみよう」から見えてくるものを話し合い、結果を発表しました。ここでは、雑誌の写真とターゲットのとの関係に作り手側の意図があることを発見するなど、違うおもしろさに気づくことができました。この作業を通してグループ全体が和やかな雰囲気になり、その後の全体の講評やジェンダーのお話もスムーズに共有できたのではないのでしょうか？

3回目は、同じく与口さんから、新聞記者の立場で当日の中央紙と地方紙の1面の取り扱い記事の違いや、新聞の作り方や受信者側、発信者側からの考え方をわかりやすくお話いただき、グループワークでは、身近な新聞記事からジェンダーの視点で見たバイアス（偏り）への気づきを学び、テーマ全体についてのまとめをグループで意見交換した後に、全員が今回のキャッチフレーズを決めて、発表するために隣の人同士でリハーサルをし、1人1分の発表をしました。最後に、講師からまとめとして、それぞれの生き方が認められる社会にしていくには、メディアから雨あられと注がれる情報の中で、日常的刷り込みに押し付けられない、縛られないで如何に取舍選択をして発信していくことが大切かを話していただきました。

このセミナーでは、継続して参加いただいた方から大変喜んでいただきました。また、企画から講師の選定と打ち合わせ、各回終了後の反省会と主体的にかかわっていただいた講師と女性財団の専門員の方々に感謝申し上げます。
【報告者／燕市地域振興課 信田節子】

講座レポート2

12月に県女性センターで開催した女性財団講演会の第3弾をレポートします。今回は「にいがた男女共同参画ウィーク」の期間に併せて開催しました。

12月1日（土）パネルディスカッション「災害から見えてきたもの～その時 女性は…～」を開催しました。新潟県内の地震および阪神・淡路大震災の体験者をパネリストに迎えて、災害を女性の視点で考えてみました。

まず始めに、中越沖地震を体験された池田千賀子さん（柏崎市議会議員）から「災害直後の避難所は、各々の運営母体によってスムーズに運営されていた所と、そうでない所の格差があった。女性の日頃の活動により、スムーズな人間関係ができた避難所は、ニーズに応じた活動ができていたようだ」というお話がありました。

次に、中越大震災直後から母子を中心に被災者のケアにあたった長岡市の酒井由美子さん（開業助産師）は、「大きな災害の体験は、大人にも子供にも一生の心の傷として残りやすい。心の傷がより深くないためのケアが重要である。人間の生きる力は人に支えられることによって生まれてくる」と話されました。

【次回講演会のお知らせ】

「もっとお気に入りの自分」になる！

～“わたし”を見つけて再チャレンジ～

講師：菊野麻子

（フリーアナウンサー）

詳細は web
かチラシで

日時：2月27日（水）10:00～12:15

会場：県女性センター 女性団体交流室2

定員：40名

参加費：500円（賛助会員は無料）

保育：6ヶ月以上、定員10名。保育協力費

子ども1人200円。2月15日（金）

×切。

×切：2月22日（金）

阪神・淡路大震災時に兵庫県立女性センターで相談業務を担当した川畑真理子さん（とよなか男女共同参画推進センター相談事業主任）は、「震災から立ち直れた人と立ち直れなかった人の差は、辛さを認めてもらえた人と認めてもらえなかった人の差であった。辛い気持ちを否定されずそのまま受け入れてもらえた人は立ち直ることができた。辛い時には甘えるという柔軟な態度も大切」と話されました。

最後に、神戸新聞の記者として阪神・淡路大震災の取材にあたった相川康子さん（神戸大学准教授）から、「女性が辛さを口に出せなかった状況は、災害現場で活躍する男性だけが重要視されて、後方支援や家庭責任を担った女性の存在が軽視された背景があったからだ。災害時に女性の人権が守られるように、普段から女性の地位を高め、エンパワーメントしておく必要がある」との提言も出されました。

その後、コーディネーター（大島照美子 新潟県女性財団理事長）のリードで、来場者 100 名にも、「これから自分達にできること」について隣席同士で話し合ってもらいました。ある参加者からは「自治会の女性部として、まず聴いてあげることから始めたい」と、今後の地域活動でのコミュニケーションのとり方について力強い意見が述べられました。

パネリストのお話から、災害は人ごとではなく、むしろ自分の生活に引き寄せて考える必要があると感じました。災害に備える第一歩として、日頃から地域のコミュニティーを密にし、助け合える関係を築いていくことが大切だということ。また、災害時に女性の人権が守られるために、防災と減災、復興に対して、女性自身ももっと積極的に関心を持ち、参画していくことが大きな課題だと思いました。

【報告者／新潟県女性財団企画運営委員 黒鳥敦子】

県内の情報

上越市男女共同参画推進センター講座 楽しい実践講座1「すてきに変身“わたしの色”発見」

【日時】2008年1月19日（土）13:30～15:30
【会場】上越市市民プラザ 第1会議室（上越市土橋1914-3）
【講師】飯塚むつこ（トータルカラーアドバイザー）
【〆切】1月11日（金）
【問合せ】上越市男女共同参画推進センター
TEL 025-527-3624 / FAX 025-522-8240

子どもの心が見えない親傷つけられ傷つける子ども達 ～親や支援者にできることを学ぶ 児童期から思春期の子ども達の心の回復プログラム～

【日時】2008年1月27日（日）13:00～14:45
【会場】長岡市中央図書館 講堂（長岡市学校町1-2-2）
【講師】平川和子（東京フェミニストセラピーセンター所長）
【定員】190名 【〆切】1月16日（水） 【保育】要申込
【問合せ】NPO 法人女のスペース・ながおか
TEL & FAX 0258-38-0456

※支援者等を対象に特別研修会もあります。

1月27日（日）15:00～17:00 / 長岡市中央図書館 講座室
定員30名。参加費3000円。1月25日〆切。

北京JAC・新潟 2008年総会記念講演 「女の人生選び」 ～社会保障・ワークライフバランス～

【日時】2008年1月26日（土）14:20～16:00
【会場】アルザにいがた 307・308
（新潟市中央区東万代町9-1万代市民会館）
【講師】竹信三恵子（朝日新聞編集委員）
【参加費】500円（会員は無料）
【問合せ】北京JAC・新潟
TEL 025-245-3063（小林）

女性史入門 「女性史にみる家族のありようとは」

【日時】2008年2月7日（木）13:30～16:00
【会場】アルザにいがた 307・308
（新潟市中央区東万代町9-1万代市民会館）
【講師】服藤早苗（埼玉学園大学教授）
【定員】20名 【参加費】2000円
【〆切】2月4日（月） 【保育】要申込
【問合せ】NPO 法人新潟フェミニストカウンセ
リングセンターまで
FAX 025-231-3010



編集・発行 / 財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニソンプラザ2階 / 新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail balansu@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~balansu/>

携帯電話用のホームページは、上記アドレスの後に / i / をつけてください。